

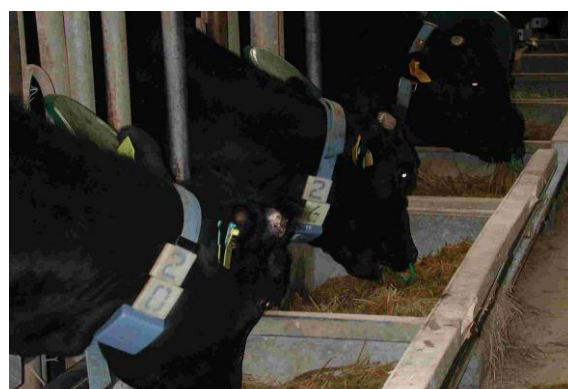
水田から生産される自給粗飼料の給与による 牛肉の高付加価値化技術

目的と特徴

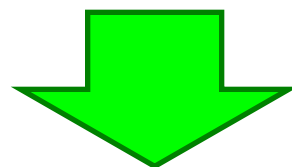
- 稲発酵粗飼料（イネWCS）等の、肥育牛への給与技術を開発しました。
- 肥育牛に給与すると、牛肉中のビタミンE含量が増加し、冷蔵保存中の脂質酸化や肉色の変色が抑制されます。
- 特色ある牛肉を生産することにより、牛肉のブランド化が期待できます。



水田での粗飼料生産



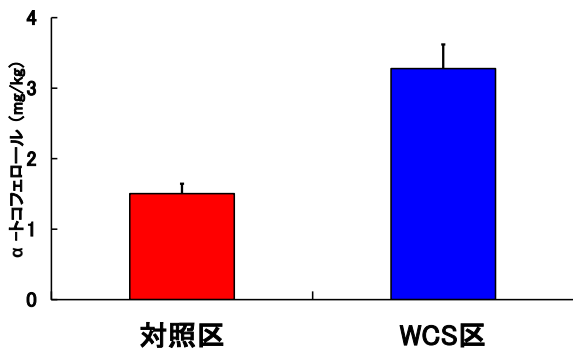
肥育牛に給与



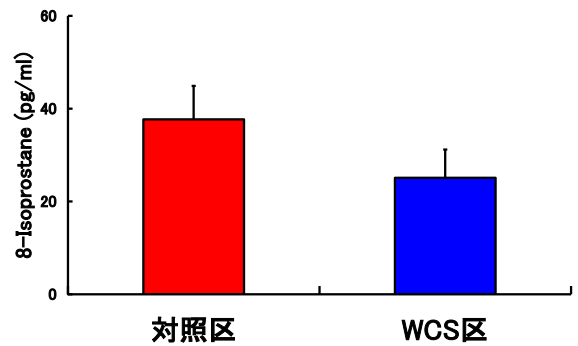
**100%自給粗飼料使用で
牛肉のブランド化**

成果

- 稲発酵粗飼料の肥育全期間給与により、牛肉のビタミンE含量が上昇します。
- 稲発酵粗飼料の給与により、牛肉の変色が抑制されます。
- 稲発酵粗飼料の給与により、牛肉の脂質酸化が抑制されます。



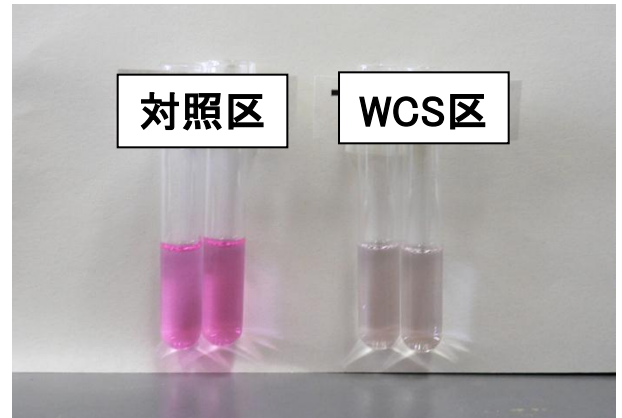
イネWCSの給与により
牛肉のビタミンE含量が増加



イネWCSの給与により牛血中の
酸化ストレスマーカー値が低下



イネWCSの給与で、冷蔵保存中の
牛肉色の変色が抑制される



イネWCSの給与で、牛肉脂質の
酸化が抑制される

※試薬の赤色度が濃いほど酸化が進んでいる

対象作物・家畜、普及対象

- ・飼料用イネ、肉用牛、全国

対象農家

- ・肉用牛の肥育農家

必要な道具

- ・ロールベアラー

関連HP（稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル）

<http://souchi.lin.gr.jp/skill/pdf/201203ine.pdf>

その他

- ・収穫調製時期や予乾の有無により、サイレージ中のビタミン含量が変動する点に注意が必要です。
- ・ビタミンE含量の高い稲発酵粗飼料は、β-カロテン含量も高い傾向にあるため、ビタミン制御型肥育を行う場合は、給与量や給与時期に注意して下さい。